

鏡川流域パートナーシップだより No.27 R4.12.9



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

令和4年度鏡川流域関係人口講座による関わりが生まれています！

鏡川流域の自然と人、人と人をつなぐ鏡川流域関係人口の創出・拡大に向け、令和3年度より鏡川流域関係人口講座を開催しています。今年度の関係人口講座もスタートしており、今後、受講生と鏡川とのつながりがますます広がることが期待されます！



講座の開催にあわせて、11月24日(木)にトークセッションを開催しました。株式会社カヤック代表取締役の柳澤大輔さんと株式会社ソトコト・プラネット編集長の指出一正さんが、地域通貨と関係人口で考える地域の未来について語り合う貴重な講演でした。

高知市内在住の方を中心に、鏡川と直接関わることができる方を対象とし、自分らしい鏡川との関わり方を考える「高知・鏡川RYOMA流域学校」の第1回講座が12月4日(日)に工石山青少年の家で開催されました。受講生の皆さんが思い描く鏡川との関わり方は多種多様！さっそく、まちのコイン「ぼっちり」を活用したり受講生同士で交流したりしながら、鏡川流域関係案内人として、鏡川との関わりを深めていました。



高知市外在住の方を対象とし、大都市圏等から鏡川流域への多様な関わり方を考える「エディットKAGAMIGAWA」の第1回講座が12月2日(金)にオンラインで開催されました。鏡川を「編集(=エディット)」の視点で捉え、自分らしく鏡川の魅力を発信するアイデアが湧いてくる講座内容でした！

受講生限定の「ぼっちり」の体験チケットも発行され、すでに活用していただいています！行きつけのお店に「ぼっちり」を紹介したり高知らしいものをSNSで紹介したりすると、ぼっちりがもらえます。日常的に「ぼっちり」を活用することで、講座で学んだことを実践したり、鏡川への関わり方をさらに具体化することができたりと、学びが深まること間違いなしです！



講座以外の時間も、「ぼっちり」を活用することで鏡川との関わりを深めています！

- ・気軽に体験チケットを利用してみる！
- ・お気に入りのスポットにメッセージやぼっちりを送ってみる！
- ・自身のコミュニティやプロジェクトをスポットとして立ち上げる！ など



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android